

災害への備え④

救命講習会のお問い合わせは
乙部町消防署 (☎0139-62-2114)へ

意識がない場合の応急処置

人は心臓が止まると15秒以内に意識がなくなり、3～4分以上そのままの状態が続くと回復することが困難となります。そのため現場に居合わせた人が早期に心肺蘇生を行うことがもっとも大切です。

① 反応(意識)を確認する

傷病者に「大丈夫ですか」または「もしもし」と大声で呼びかけながら、肩を軽くたたき、反応があるか、ないかをみます。

② 助けを呼ぶ

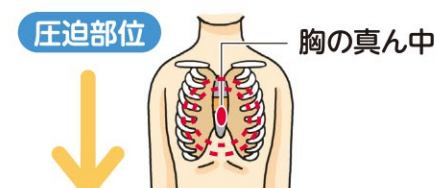
反応がなければ、大きな声で「誰か来て!人が倒れています!」と助けを求めます。協力者が来たら、「あなたは119番へ通報してください」「あなたはAEDを持ってきてください」と具体的に依頼します。

③ 呼吸を確認する

傷病者が「普段どおりの呼吸」をしているかどうかを確認します。
※傷病者の顔と救助者の顔があまり近づきすぎないようにする。

④ 胸骨圧迫を行う

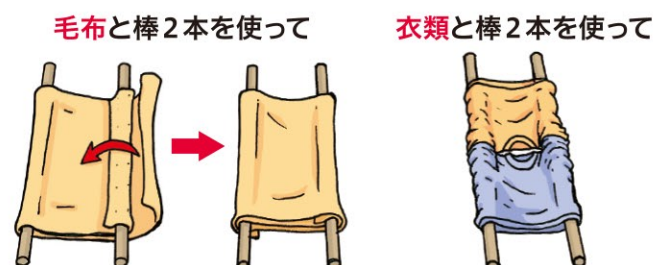
まず胸の真ん中に手の平を重ね合わせ、両ひじを伸ばし、体重をかけるようにしながら、まっすぐ下に5cm程沈むくらいの強さで押します。これを1分間に100～120回くらいのリズムで、救急隊に引き継ぐまでか、何らかの反応があるまで絶え間なく続けることが大切です。
※新型コロナウイルス感染症の対策のため、人工呼吸は極力行いません。



移動させたいが... 担架がないとき

毛布や衣類を使って簡易担架を作る

傷病者を安静にして運ぶときは、2本の棒と毛布や衣類などで簡易担架を作りましょう。
(使用前には、必ず安全を確認しましょう。)



AED (自動体外式除細動器) による救命処置

AED(自動体外式除細動器)は、突然の心停止から、けいれんした心臓に電気ショックを与え、正常な状態に戻すための機械です。

付属の電極パッドを傷病者にはると自動的に心電図を解析し除細動が必要な場合のみ電気ショックを加える仕組みで、安全・確実に除細動が行えます。



AED(自動体外式除細動器)がありましたら、AEDを装着し、音声ガイダンスに従って除細動することは救命に大きな効果があります。

※日ごろからAED設置場所を確認しておきましょう。

町内のAED 設置箇所

乙部町役場、乙部消防署、乙部小学校、乙部中学校、つくし保育園、町民体育館、公民館、町民プール、おとべ温泉いこいの湯、栄浜小学校、特別養護老人ホームおとべ荘、明和小学校、とよはま地区センター

出血への対処

ビニール等を使用した 直接圧迫止血法



直接圧迫止血の方法



① 出血には原則として、直接圧迫止血をします。出血を止めるために手足を細い紐や針金で縛ることは神経や筋肉を損傷するおそれがあるので行いません。ガーゼなどが血液で濡れてくるのは出血部位と圧迫位置がずれている、または圧迫する力が足りないためです。

② 感染防止のため、直接血液が手に付かない様に厚めのガーゼ等を用います。できるだけビニール手袋やビニール袋を使用します。血液が付いた場合は、速やかに水で洗い流しましょう。

③ 手足を止血した場合は、患部を心臓より高く上げましょう。

打撲・骨折への対処

鎖骨の骨折



前腕の骨折



足の骨折



① 打撲は患部を冷やします(水で冷やすか、冷湿布を貼ります)。

② 骨折は副木をして、骨折部分には触れずにそのまま固定し、動かないようにします(週刊誌・ダンボールなども副木として利用できます)。

③ 内出血をしている場合は危険ですので、応急手当をした後、速やかに医療機関で受診してください。

救急車の呼び方

119



① 119番にダイヤル

② (火事ですか?、救急ですか?の問いに)「救急です!」と答える

③ 「住所」「目印」を (マンションは名前・号棟・階数・号室も詳しく)

④ 事故や傷病者の「様子」を説明 (いつ・どこで・だれが・どうして・どうなったかを詳しく)

⑤ 通報者の「氏名」「電話番号」を

⑥ サイレン音接近。人手があれば救急車を「誘導」

⑦ 救急隊「到着」(傷病者が倒れていた状況、行なった応急手当、容態の変化、AEDによる電気ショックの回数などを正確に報告)